

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年11月12日

上場会社名 中部水産株式会社
 コード番号 8145 URL <http://www.nagoya-chusui.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀 健雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 鈴木 祥司
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日 配当支払開始予定日 平成21年12月10日

上場取引所 名

TEL 052-683-3110

平成21年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	21,499	△7.3	62	367.2	136	37.9	71	30.2
21年3月期第2四半期	23,192	—	13	—	98	—	54	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	3.83	—
21年3月期第2四半期	2.82	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	15,021	12,472	83.0	670.44
21年3月期	14,870	12,364	83.1	664.15

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 12,472百万円 21年3月期 12,364百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
22年3月期	—	4.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,500	△3.6	50	15.2	210	6.8	130	△38.8	6.98

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	21,269,000株	21年3月期	21,269,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	2,664,954株	21年3月期	2,651,844株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	18,606,204株	21年3月期第2四半期	19,366,347株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、在庫調整の進展や経済対策の効果などを背景に、景気底入れの期待感が高まったものの、企業収益の減少や設備投資の抑制、雇用環境の悪化など、先行きに対する見通しは不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、消費者の生活防衛意識の高まりにより、節約志向、低価格志向がますます強まり、個人消費が一段と冷え込み、価格競争の激化も相まって、さらに厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもとで、当社は、顧客ニーズに対応した営業活動を展開するとともに、企業体質の強化と収益の確保のための諸施策に全力で取り組んでまいりました。

当第2四半期累計期間の売上高は、鮮魚の魚価安や冷凍魚、飼料の販売不振などにより減少したため、21,499百万円(前年同四半期比7.3%減)となりました。経常利益は、売上総利益率の改善や年金制度の移行による退職給付費用の減少などがあり、136百万円(前年同四半期比37.9%増)となり、特別損失に投資有価証券評価損24百万円を計上し、四半期純利益は71百万円(前年同四半期比30.2%増)となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

鮮魚部門は、イワシ類、ホタテ貝柱、生鮮キハダなどが入荷増で増収となりましたが、サンマ、イカ類などの魚価安やウニ、トロ商材などの高価格品の消費減少も加わって、売上高は11,040百万円(前年同四半期比5.7%減)となりました。

冷凍魚部門は、中国産冷ウナギ蒲焼や尾付伸ばしエビが伸長しましたが、冷カニ類、冷タコ、冷有頭エビなどの取扱量が減少し、売上高は3,373百万円(前年同四半期比13.3%減)となりました。

塩干魚部門は、タラコ、明太子、カラスカレイ、チリメンで取扱増となりましたが、時サケの漁獲減や塩サバなどの需要減で、売上高は6,033百万円(前年同四半期比2.7%減)となりました。

この結果、卸売部門の売上高は20,447百万円(前年同四半期比6.2%減)となりました。

(その他の事業部門)

飼料工場部門は、養鰻用飼料の国内販売が稚魚の池入れ増加による取扱増と、韓国向輸出の新規販売先の開拓などで増収となりましたが、養魚用飼料が養殖業者の需要減退や、他社製品との厳しい価格面の競合により大幅な減収となり、売上高は568百万円(前年同四半期比35.5%減)となりました。

食品加工場部門は、釜飯などのセット商品が取扱増となりましたが、ポット商品、ピロ商品が少量規格への変更や小口受注中心の販売となり、売上高は211百万円(前年同四半期比3.2%減)となりました。

冷蔵工場部門は、鮮魚貨物の取扱量が増加しましたが、主力商品である塩鮭鱒の入庫の大幅な搬入減と委託者の流通経費の節約などもあり、売上高は213百万円(前年同四半期比6.3%減)となりました。

不動産賃貸部門の売上高は、主な事業である賃貸マンション2棟、貸事務所1棟が順調に稼動し、59百万円(前年同四半期比2.7%減)となりました。

この結果、その他の事業部門の売上高は1,052百万円(前年同四半期比24.2%減)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、現金及び預金の減少355百万円などがありましたが、有価証券の増加300百万円や商品及び製品の増加273百万円などにより、前事業年度末に比べ150百万円(1.0%)増加しました。

負債は、長期未払金の減少143百万円や退職給付引当金の減少81百万円などがありましたが、支払手形及び買掛金の増加243百万円などにより、前事業年度末に比べ42百万円(1.7%)増加しました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の減少115百万円などにより、前事業年度末に比べ108百万円(0.9%)増加しました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動の結果、仕入債務の増加等により175百万円増加となりましたが、投資活動の結果、無形固定資産の取得による支出等により152百万円、財務活動の結果、配当金の支払等により78百万円それぞれ減少となったため、前事業年度末に比べ55百万円(0.9%)減少し、当第2四半期会計期間末には6,307百万円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

今後の経済情勢は、景気が停滞するなか、個人消費の回復にはまだ相当の時間を要するものと予想され、当社を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続くものと思われま

す。このような経営環境のもとで、当社は、出荷者、仲卸業者等に対する情報力と企画提案力を強化するなど積極的な営業活動を行ってまいります。

通期の業績予想につきましては、引き続き消費の低迷、販売単価の下落が見込まれるため、売上高は前回発表の予想を下方修正いたします。利益面は、売上総利益率の改善や諸経費の削減を図って、前回発表の予想通りといたします。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (平成21年5月14日)	47,300	50	210	130	6.98
今回発表予想 (平成21年11月12日修正)	45,500	50	210	130	6.98

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用しているため、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定して算定しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前事業年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを使用しています。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(追加情報)

退職給付引当金

当社は、従来より税制適格退職年金制度及び退職一時金制度を採用しておりましたが、平成21年10月1日より税制適格退職年金制度を確定給付企業年金制度に移行しました。本移行に伴う影響額は、当第2四半期累計期間の退職給付費用の減額として68,232千円計上し、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益は同額増加しております。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,569,184	4,924,577
受取手形及び売掛金	2,169,750	2,217,805
有価証券	1,800,000	1,500,000
商品及び製品	782,235	508,343
仕掛品	25,539	28,467
原材料及び貯蔵品	333,785	437,972
その他	186,247	131,441
貸倒引当金	△12,446	△12,728
流動資産合計	9,854,296	9,735,880
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,710,255	1,772,863
その他(純額)	856,084	866,273
有形固定資産合計	2,566,340	2,639,136
無形固定資産		
	135,558	35,932
投資その他の資産		
投資有価証券	1,915,494	1,825,407
その他	586,169	670,449
貸倒引当金	△36,399	△35,886
投資その他の資産合計	2,465,264	2,459,970
固定資産合計	5,167,163	5,135,039
資産合計	15,021,460	14,870,919
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,358,724	1,115,562
受託販売未払金	106,083	156,228
未払法人税等	5,521	6,038
賞与引当金	63,000	72,200
役員賞与引当金	—	10,800
その他	360,102	264,257
流動負債合計	1,893,431	1,625,086
固定負債		
長期未払金	45,978	189,904
退職給付引当金	520,216	601,886
その他	88,894	89,411
固定負債合計	655,089	881,201
負債合計	2,548,520	2,506,288

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,450,000	1,450,000
資本剰余金	1,342,597	1,342,597
利益剰余金	11,368,481	11,371,759
自己株式	△1,287,142	△1,282,763
株主資本合計	12,873,936	12,881,593
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△400,996	△516,961
評価・換算差額等合計	△400,996	△516,961
純資産合計	12,472,939	12,364,631
負債純資産合計	15,021,460	14,870,919

(2) 【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	23,192,883	21,499,647
売上原価	22,089,192	20,456,693
売上総利益	1,103,690	1,042,954
販売費及び一般管理費	1,090,327	980,513
営業利益	13,363	62,440
営業外収益		
受取利息	16,490	11,476
受取配当金	36,716	32,063
受取手数料	17,624	20,594
その他	14,825	9,747
営業外収益合計	85,656	73,882
営業外費用		
自己株式取得費用	192	35
営業外費用合計	192	35
経常利益	98,827	136,288
特別利益		
投資有価証券売却益	7,100	—
その他	25	—
特別利益合計	7,125	—
特別損失		
投資有価証券評価損	25,512	24,428
その他	326	72
特別損失合計	25,838	24,501
税引前四半期純利益	80,113	111,786
法人税、住民税及び事業税	41,572	2,118
法人税等調整額	△16,141	38,477
法人税等合計	25,431	40,596
四半期純利益	54,682	71,190

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	80,113	111,786
減価償却費	90,903	95,799
貸倒引当金の増減額(△は減少)	16,792	230
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,000	△9,200
退職給付引当金の増減額(△は減少)	26,779	△81,669
投資有価証券評価損益(△は益)	25,512	24,428
投資有価証券売却損益(△は益)	△7,100	—
受取利息及び受取配当金	△53,206	△43,540
売上債権の増減額(△は増加)	147,962	40,231
たな卸資産の増減額(△は増加)	△398,528	△166,776
仕入債務の増減額(△は減少)	213,591	193,016
未払消費税等の増減額(△は減少)	△111,124	△1,651
未払費用の増減額(△は減少)	△10,047	△7,119
その他	8,025	△21,831
小計	21,674	133,704
利息及び配当金の受取額	53,198	46,125
法人税等の支払額	△8,819	△4,189
営業活動によるキャッシュ・フロー	66,052	175,640
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△35,300	△32,000
定期預金の払戻による収入	28,300	32,100
有形固定資産の取得による支出	△8,585	△12,028
無形固定資産の取得による支出	—	△112,637
投資有価証券の取得による支出	△1,093	△28,056
投資有価証券の売却による収入	57,100	—
その他	362	481
投資活動によるキャッシュ・フロー	40,783	△152,140
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△903,197	△4,413
配当金の支払額	△81,609	△74,423
財務活動によるキャッシュ・フロー	△984,807	△78,837
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△877,971	△55,337
現金及び現金同等物の期首残高	6,790,711	6,363,314
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,912,740	6,307,976

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. 卸売部門の販売・仕入状況

(1) 販売実績

部門別	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	前事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
鮮魚部門(千円)	11,713,183	11,040,166	23,546,637
冷凍魚部門(千円)	3,889,144	3,373,590	7,996,519
塩干魚部門(千円)	6,202,577	6,033,716	13,254,791
合計(千円)	21,804,906	20,447,473	44,797,949

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 仕入実績

部門別	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	前事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
鮮魚部門(千円)	11,194,445	10,519,045	22,461,754
冷凍魚部門(千円)	3,855,388	3,331,793	7,434,706
塩干魚部門(千円)	6,197,642	5,898,387	12,670,325
合計(千円)	21,247,475	19,749,226	42,566,787

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

7. その他の事業部門の販売・生産状況

(1) 販売実績

部門別	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	前事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
飼料工場部門(千円)	880,839	568,191	1,367,020
食品加工場部門(千円)	218,339	211,292	443,920
冷蔵工場部門(千円)	228,131	213,656	466,061
不動産賃貸部門(千円)	60,666	59,032	118,532
合計(千円)	1,387,977	1,052,173	2,395,534

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 生産実績

部門別	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	前事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
飼料工場部門(千円)	791,151	512,790	1,256,610
食品加工場部門(千円)	240,695	222,053	476,582
冷蔵工場部門(千円)	227,277	213,760	456,780
合計(千円)	1,259,124	948,605	2,189,973

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注状況

当社は、ごく少数の特殊製品について受注生産を行うほかはすべて見込生産であります。